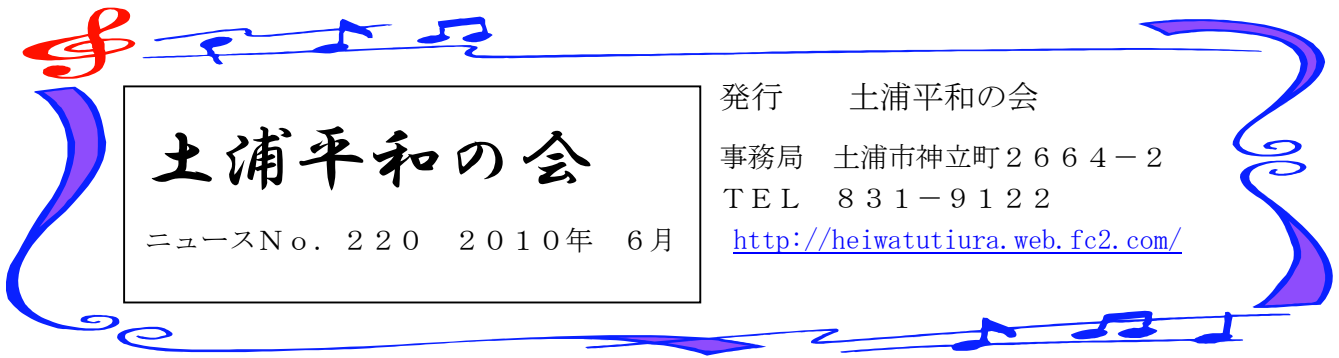


私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



核兵器のない世界をめざして

国民平和大行進石岡—土浦コース

2010年国民平和大行進は7月1日茨城に入ってきます。県内のコースと日程は次のとおりです。

7/1日北茨城市—2日日立市—3日東海村—4日水戸市—5日筑西市—6日古河市—7日常総市—8日石岡市—9日土浦市—10日竜ヶ崎市—11日取手市—12日潮来市—13日神栖市から香取市に引継ぎ

土浦市は7月9日（金）11時ころ中貫交差点、12時20分ころ亀城公園に到着します。

13時30分まで昼食休憩。（雨天時は亀城プラザで休憩の予定）

13時ころから例年通り歓迎集會が行なわれる予定です。亀城公園出発は13時30分。1歩でも2歩でも一緒に歩きましょう。土浦駅前経路で14時30分ころ小岩田池/辺商店わきで小休止。陸上自衛隊補給処を経由して荒川沖駅東口に16時30分ころ到着の予定です。

石岡駅前8：30—千代田庁舎10：30—中貫交差点11：30—亀城公園12：20（昼食休憩）
13：30出発—小松坂下14：00—小岩田（小休止）14：30—陸自補給処（小休止）15：30—荒川沖駅（長崎屋前）16：30～17：00引継ぎ集會

平和の会総会が終わりました

2010年土浦平和の会総会は6月29日（土）午後1時30分から4中地区公民館において開催されました。この日は諸行事と重なっていたため参加者は17人でしたが、日本平和委員会が制作したドキュメンタリーDVD「どうするアンプ」を見た後、1年間の経過報告、会計報告、監査報告がありました。いま国民と世界中が注目している核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて、日本原水協は2000人の代表団をニューヨークに送り、700万余の署名を提出しました。茨城県では5万余筆、土浦地域でも3000余筆を集め、平和の会でも700余筆を提出したことが報告されました。

懇談の中では市町村合併が終わった後の非核平和都市宣言が行なわれていない町がある件や市の平和行政について市と平和団体との懇談が必要である。平和関連図書の購入予算を増やして欲しい。平和行進のとき市長の挨拶が欲しい。普天間の問題を全国的な規模で盛り上げることが必要。沖縄の地方紙に意見広告を出すことなどたくさんの意見が出されました。

新年度役員改選では石井理事の一身上の都合による辞退と岡田安正、古沢明理事の新規加入が承認されました。

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

ニコエコデイコ 「平和講演会」 日本被団協事務局長 田中熙巳氏

「核兵器のない世界」への道 ～いま世界は、そして私たちは～

6月6日土浦市民会館で行なわれた平和講演会において、田中氏は語りました。米軍占領の7年間被爆の実相が隠蔽され、さらにその後も日本政府による放置政策によって被爆者は顧みられることもなかった。ビキニの被曝の時から国民的関心を集めるようになった。ヒロシマでは14万人、ナガサキでは7万人がその年の12月までに亡くなった。被爆者の実数は正確にはわからない。被爆手帳を持っている人、手帳を受けられない人、持ちたくない人がいる。被害の実態はまだ完全には分かっていない。様々な被害の実態がある。被爆者が全員亡くなった時全てが分かるであろう。

2010年ニューヨークに2万5000人が集まった。日本からも1500人超が参加した。日本被団協代表団は52人が参加し、核兵器廃絶の署名を200万筆提出した。リバーサイドチャーチで開かれた国際平和会議では田中氏が発言。タイムズスクエアで開かれたNGO共同集會では被爆者の木村緋紗子さん、ペース大学のシンポジウムでは坪井団長、谷口副団長、田中副団長、岩佐事務局次長が発言しました。7日のプレゼンテーションでは谷口氏が発言、40箇所の学校などでは被爆者全員が分担して証言するなど、様々な場面で活躍することができた。

さらに幸運だったのは国連本部ロビーメインギャラリーでの原爆展が実現したことでした。2ヶ月間の使用許可が出て、多数の見学者に「被爆者からのメッセージ」の配布や被爆者の証言を行なうことができた。被団協の行動は大きな成果を上げることができたことを報告されました。

28日にNPT再検討会議最終文書が発表されたが、困難な情勢の中で不十分さを含みながらも核兵器廃絶に向かって大きな一歩を踏み出したと言えます。

再検討会議最終文書で採択されたこと（ほんの一部だけ）

「本会議は諸政府や市民社会からの新しい提案およびイニシアチブに注目する」としてNGOによる提案と行動を評価しています。また「国連事務総長の諸提案に注目する」と述べています。

①「2000年NPT再検討会議の最終文書の合意を基礎に、すべての締結国が確約している核軍備削減、撤廃にいたる核兵器の完全廃絶を実現するという核兵器国の明確な約束を再確認する」
 ②「条約非締結国の速やかな加盟を要請し、条約の順守を促進し、否定的な影響を与える行動を行なわないよう求める」③「条約上の義務の履行に関して不可逆性、検証可能性、透明性の原則を適用することを約束する」④「核兵器国が核兵器開発や質的改善を抑制し、新しいタイプの核兵器開発を中止することに関する非核兵器国の正当な関心を認める」⑤「ロシアと米国は新START条約の早期発効と全面実施をめざし、追加措置について協議を続けること」⑥「14年の準備委員会において取組みを報告すること」⑦「核軍備削減・撤廃を扱う小委員会を設置する」など詳細な約束と行動の提起をおこなっています。（紙面の都合でかなり無理な要約になりました）

中東非核地帯実現（'95年決議）のための取組み についても言及しています。

活動ごよみ

6・8 平和行進土浦実行委員会（保健生協）	6・15 「いのちの山河」試写会（市民会館）
6・11 高齢者大会事務局会議（保健生協）	6・16 高齢者大会実行委員会（コープ土浦）
6・13 土浦母親大会	6・19 県平和委大会（水戸市青少年会館）
6・15 平和の会理事会（コープ）	7・9 平和行進（石岡～土浦コース）

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください